

事務事業マネジメントシート(令和 3年度実績と令和 4年度計画)

令和 4年 6月 1日 更新

事務事業名		竹迫初市振興会活動支援事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	3	教育の健康			所属部	産業振興部	課長名	後藤 章博
	施策	13	歴史・伝統・文化を活かした郷土愛の醸成			所属課	商工振興課	担当者名	大塚 裕貴
	施策の柱	46	歴史・伝統文化(文化財を含む)の保護と継承			所属班	商工振興班	(内線)	5215
予算科目		会計一般	款 7	項 1	目 2	事業連番	10926	根拠法令	
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 3年度で終了 <input type="checkbox"/> 3年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	地域の観光資源である竹迫初市を実施する振興会(商工会、関係地区の区長、市、農協等で組織)を助成し、地域振興を図る。 令和3年度はコロナ禍により中止
【業務の流れ】	申請受付、交付決定、支払、実績報告 年3回の調整会議への出席および市広報等PRなどの支援
【主な予算費目】	補助金
【意見や要望】	来場者数の減少に伴い日程や場所を変えながら開催されてきたが、初市の歴史を広く知ってもらい地元の呼び物として再び根付かせるため、元々開催されていた参宮線界隈での開催が適当との意見が寄せられた。平成28年度から参宮線界隈で開催。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
①手段(主な活動) 3年度実績(3年度に行った主な活動)(DO)	4年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)	
新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、竹迫初市の開催を中止した。 【基準に達しなかった理由】新型コロナウイルス感染症の影響により、竹迫初市の開催が中止されたため。	新型コロナウイルス感染症拡大の動向に配慮しながら、市民に向けて竹迫初市の情報を発信していく。	
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由
→ア:振興会団体数	団体	
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	②対象指標(対象の大きさを表す指標)	(単位)
竹迫初市振興会	→ア:出店者数	店
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③成果指標(意図の達成度を表す指標)	(単位)
伝統ある初市を後世に継がせると共に地域振興を図る。	→ア:来場者数	人
*③成果指標設定の理由と4年度目標値設定の根拠		総トータルコスト
来場者数が増加し初市が賑わう事で成功したと実感でき、振興会の活性化に繋がる。29年度は更に周知徹底を図り来場者数の増加につなげる。		全体計画
		~ 年度
		0

(2)各指標・総事業費の推移		単位	31年度実績(決算)	2年度実績(決算)	3年度目標(当初予算)	3年度実績(決算)	4年度目標(当初予算)	5年度予定	6年度見込	7年度見込
①活動指標	ア 団体		23	23	10	23	20	20	20	20
	イ 団体									
②対象指標	ア 店		0	0	0	0	20	20	20	20
	イ 店									
③成果指標	ア 人		0	0	1,000	0	1,000	1,000	1,000	1,000
	イ 人									
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	人件費	一般財源	千円	81		80	80	80	80	80
		(A)事業費計	千円	81	0	80	0	80	80	80
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	3	1	2	2	2	2	0
延べ業務時間	時間	25	5	80	55	0	0	0	0	
(B)人件費計	千円	99	19	318	215	0	0	0	0	
トータルコスト(A)+(B)	千円	180	19	398	215	80	80	80	80	

事務事業名	竹迫初市振興会活動支援事業	所属部	産業振興部	所属課	商工振興課
-------	---------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部 (CHECK)

*原則は3年度の事後評価、ただし複数年度事業は3年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 3年度目標達成度評価	<input type="checkbox"/> 達成した <input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】 【前年度内容】 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、竹迫初市が開催中止となったため、目標が達成されなかった。
	② 4年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 【前年度内容】 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、竹迫初市の開催は中止となった。次年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の動向を注視し、開催の可否を判断する。
有効性評価	③ 成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 【前年度内容】 来客数が増えれば初市が成功したと判断する団体が増加するため、成果の向上につながる。
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 【前年度内容】 他に類似する事務がない。
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 【前年度内容】 必要最小限の経費であり、さらなる削減の余地はない。
	⑥ 人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 【前年度内容】 会議、初市の参加のみであり削減の余地はない。
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 【前年度内容】 対象者を市民にしているため公平・公正である。
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 【前年度内容】 初市振興会 (商工会、市、教育委員会、JA、シルバー人材センター、まちなっと”セラヴィ”、関係地区の区長で組織)が実施しており役割分担は適正である。

3 評価結果の総括 (CHECK)

【前年度内容】 広報・PRの強化により来場者数は増加傾向にあり、地元の事業所および住民の協力が醸成されていることから、地域文化をはぐくむという観点において評価できる。
--

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策																						